



ID&Eホールディングス株式会社

プライム市場 証券コード：9161

日経IR・個人投資家フェア2024 会社説明資料

2024年8月23日-8月24日

Agenda

1. ID&Eグループについて
2. 成長戦略
3. 2024年6月期業績と株主還元
4. まとめ

1. ID&Eグループについて

2023年7月、日本工営グループは持株会社体制（ID&Eグループ）へ移行。



プライム市場 証券コード：9161

ID&Eホールディングス株式会社

Integrated Design & Engineering Holdings Co., Ltd.

経営理念

誠意をもってことにあたり、技術を軸に社会に貢献する。

社名に込めた思い

- 英文表記の社名の頭文字

Integrated **D**esign & **E**ngineering

様々な分野を統合
(Integrated)、ワン
ストップで事業を推進

“土木×建築×エネルギー”を包含する
総合建設コンサルタント&エンジニアリング企業
としての当社グループの事業を象徴

ロゴに込めた思い



- 「D」と「E」の図形（群青色）を融合、様々な分野が統合され、新たな価値が加わるイメージ（金色）を表現
- 余白は、多様な人財が様々な分野間でイノベーションを起こすオープンで風通しの良い自由な環境を表現

創業者 久保田 豊 (1890~1986)

- 戦前は朝鮮半島で当時最大級の電源開発（水豊ダム/700MW）に従事。
- 戦後、日本の復興および海外の戦時被災国復興を目指して56歳で会社を設立。
- 計画を成就するために全身全霊を集中させること、それが「誠意」であり、「**誠意をもってことにあたれば必ず途（みち）は拓ひらける**」と、久保田は説き、それが現在の経営理念に結びついている。こうした情熱が実を結び、1954年、海外進出第1号となるビルマ(現ミャンマー)での発電計画の受注に結びついた。
- 海外技術協力の父と呼ばれ、1985年には、勲一等旭日大綬章。
- 90歳まで世界各地のプロジェクトを指揮し、開発途上国の発展に貢献。



昭和天皇より勲一等旭日大綬章を親授される久保田豊

ID&Eグループの成長の歴史 – 時代のニーズに応じた事業展開



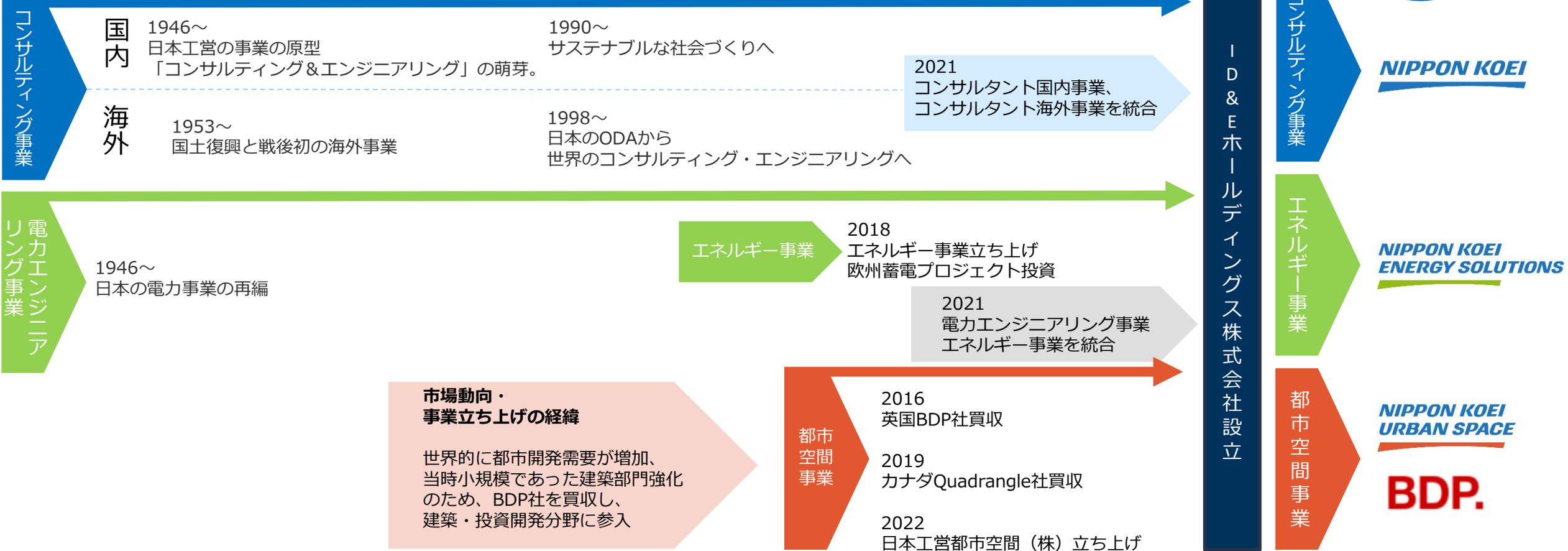
1946-1970 創業期
戦後復興

1970-1990 発展期
高度経済成長・人口増加

1990-2010 成熟期
バブル崩壊・地球温暖化

2010- 革新期
サステナビリティとレジリエンス

2023年7月



70年以上にわたり社会基盤整備に携わり、世界で国づくり・人づくりに寄与

グループ従業員数



日本国内売上



年間プロジェクト件数



海外実績



海外売上比率



グループ会社数



事業分野はコンサルティング・電力を基本に、近年は都市・エネルギーへ拡大

コンサルティング



主な顧客

国、地方自治体、JICA、
海外政府機関

- インフラの計画・調査・設計
- インフラの長寿命化・維持管理のコンサルティング
- 防災・減災の技術コンサルティング

都市空間



主な顧客

国、地方自治体、民間企業

- 地域開発調査、都市・地方計画の立案支援
- 建築設計、歴史的建造物の改修

エネルギー



主な顧客

電力会社、地方自治体、
民間企業

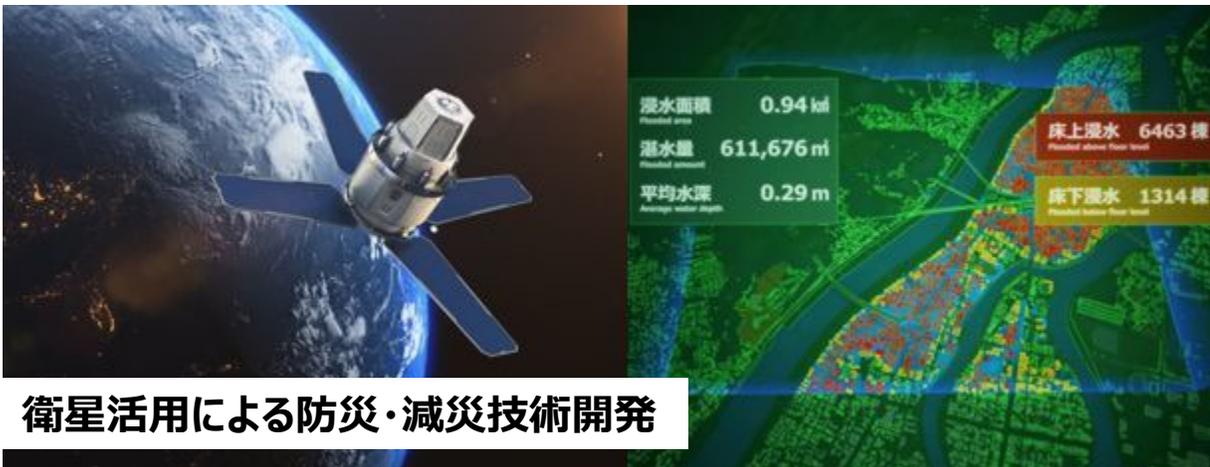
- 水力発電所・変電所の機器製造・工事
- 電力・電気設備のコンサルティング
- エネルギーマネジメント事業
- 水力発電所運営



ハツ場ダム関連業務 (群馬県)



震災復興支援事業 (能登半島)



衛星活用による防災・減災技術開発



自動運転実証事業



ダッカMRT6号線 (バングラデシュ)



ラックフェン国際港 (ベトナム)



震災復興支援 (トルコ)



新タケタ橋 (ミャンマー)



ウエストミンスター宮殿 (英国)



Education city スタジアム (カタール)



明治公園Park-PFI事業 (東京都)



OHGISHIMA2050 (神奈川県)



製造工場 (福島県須賀川市)



大規模蓄電プロジェクト (英国・ベルギー)



秋田臨海処理センターエネルギー供給拠点化 (秋田県)



美和発電所 (長野県)

目次

1. ID&Eグループについて
- 2. 成長戦略**
3. 2024年6月期業績と株主還元
4. まとめ

ID&Eグローバル戦略2030 － 共創。限界なき未来に挑む －

基本方針

知の探究、技術の革新と統合により、新たな価値を提供し、持続可能な社会を実現する

2030年6月期
数値目標
(IFRS)

売上収益
2,500億円

営業利益
250億円

営業利益率
10%

ROE
15%

共創施策 1

事業区分の再編、 ワンストップサービスの構築

- 3つの事業領域の新展開
- ワンストップサービスの実現と機動的な事業運営
- 事業マネジメント分野への本格展開

共創施策 2

自律と連携の促進

- 自律と連携、意思決定の迅速化、多様性の共存のため純粋持株会社へ移行
- 事業と地域を両軸としたマトリクス経営の実施

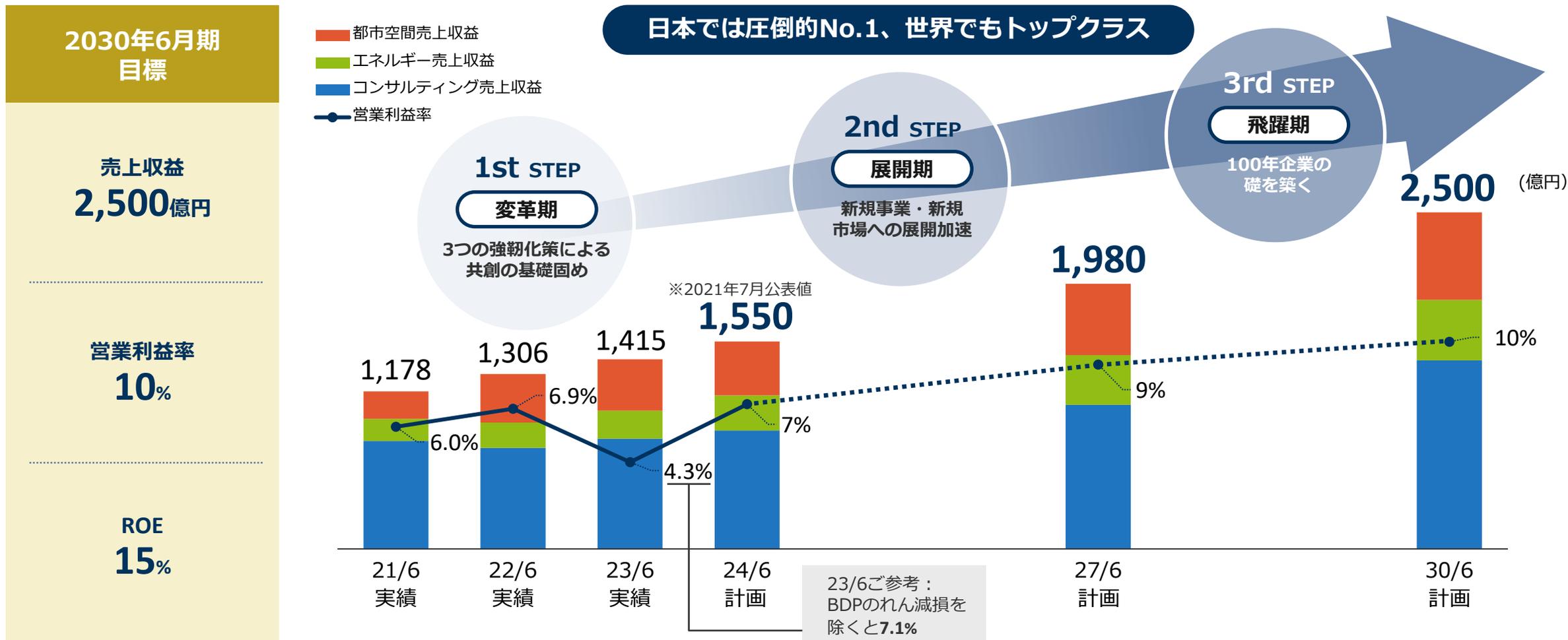
共創施策 3

ID&Eブランド、 ID&Eクオリティの体現

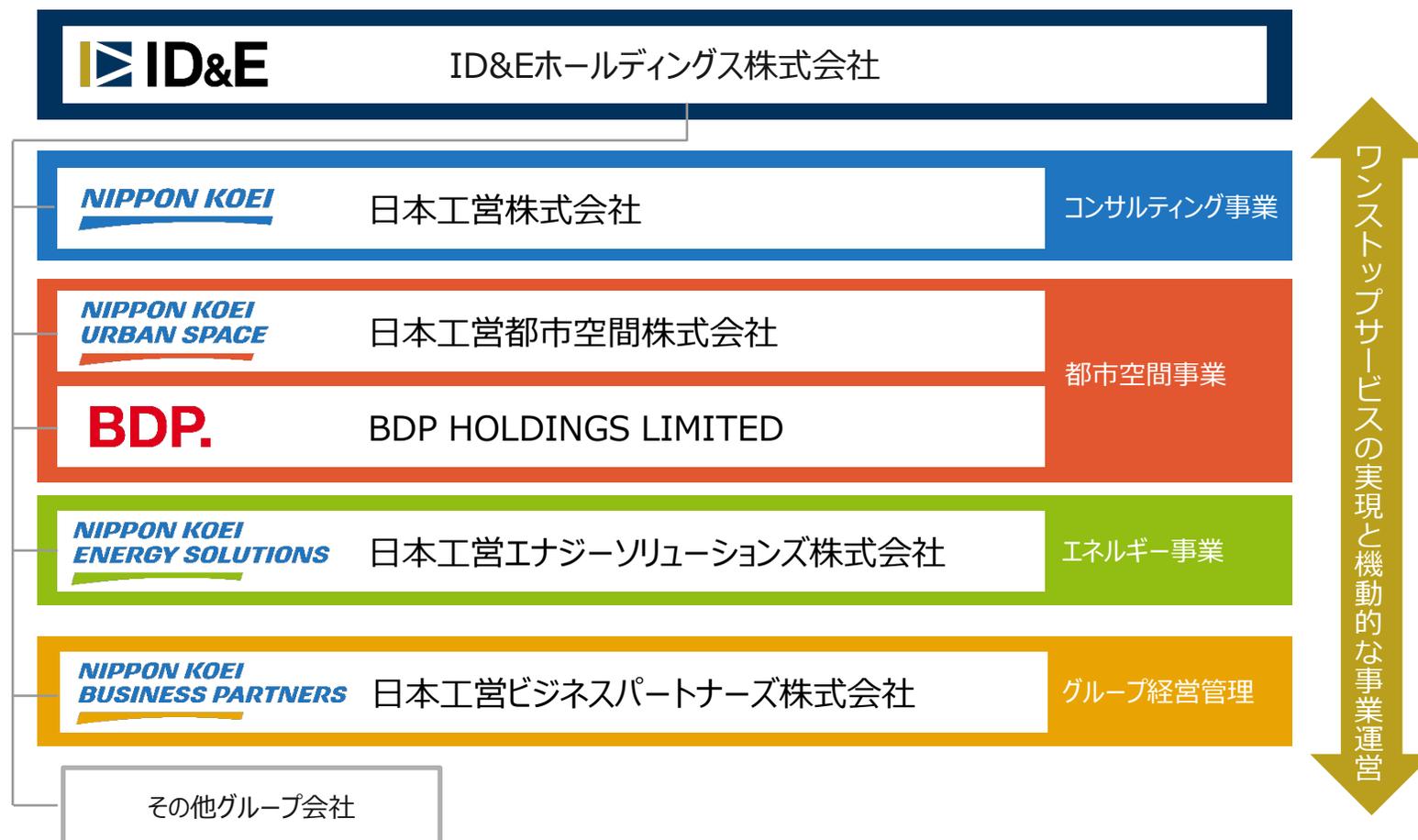
- 技術戦略と連携した世界トップクラスの人財育成
- デジタルトランスフォーメーション（DX）の実現化

ID&Eグローバル戦略2030

— 共創。限界なき未来に挑む —



「コンサルティング」「都市空間」「エネルギー」の3事業を基幹事業と位置づけ、各組織体がそれぞれの特徴を活かし、様々な変化や要求に迅速に対応できる組織へ進化。



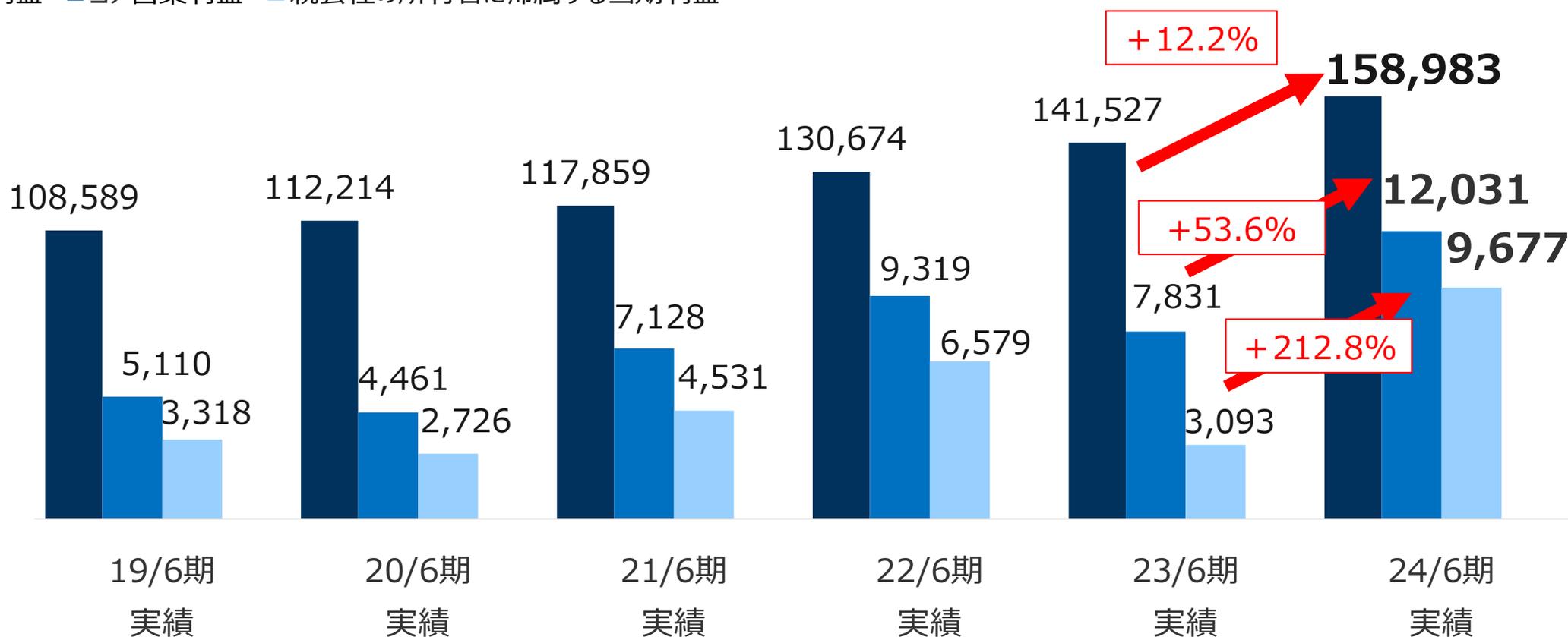
目次

1. ID&Eグループについて
2. 成長戦略
- 3. 2024年6月期業績と株主還元**
4. まとめ

国内の良好な市場環境や再生エネルギーのニーズにより、 受注高・売上収益・各利益ともに計画達成、過去最高を更新

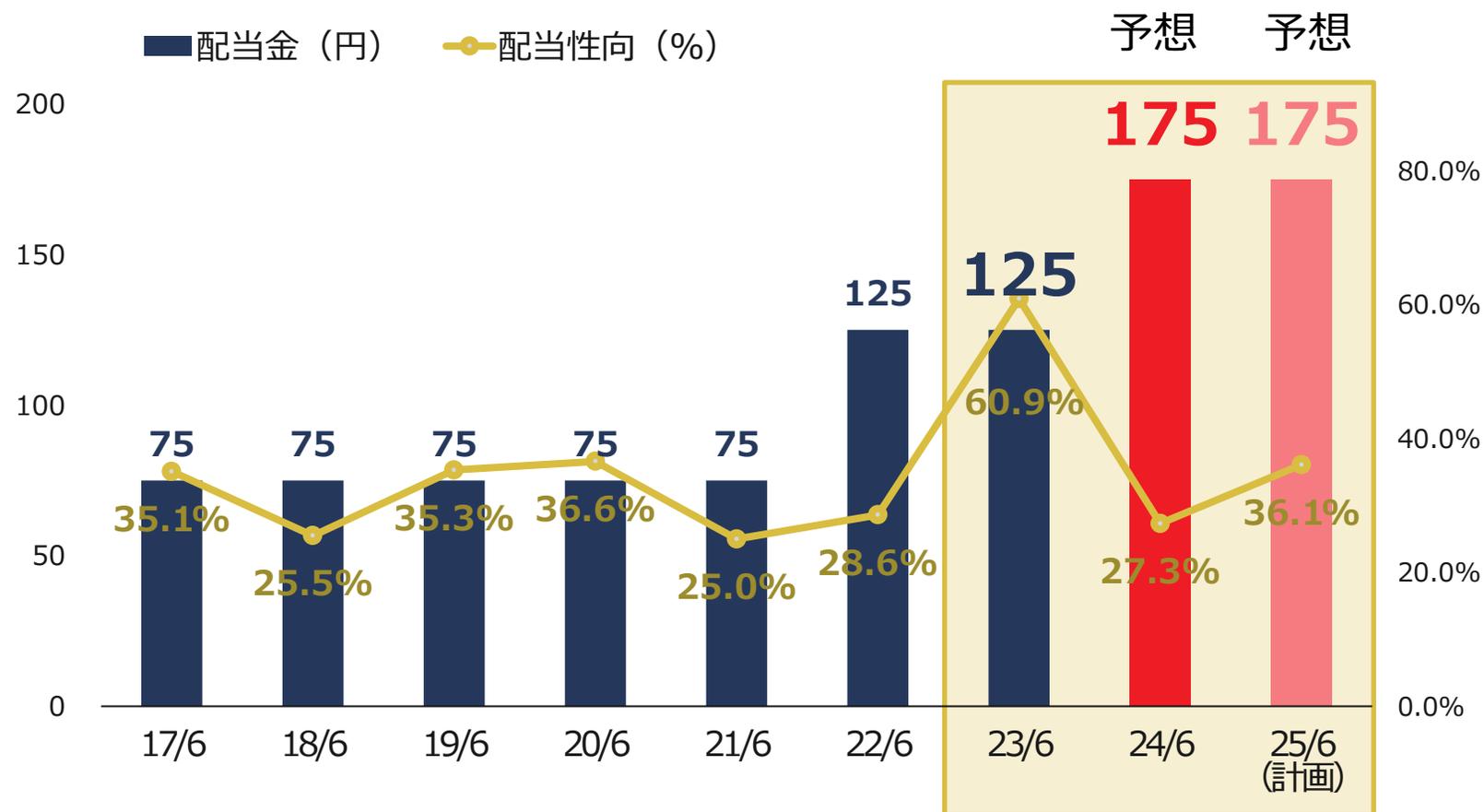
単位：百万円

■ 売上利益 ■ コア営業利益 ■ 親会社の所有者に帰属する当期利益



安定的な配当を実現するため、これまでの配当性向（30%目処を維持）に加え、自己資本を基準にしたDOE（自己資本配当率）を新たな指標とし、2.5%以上に設定。

24/6期は業績好調により増配
 1株あたり配当金 **175円**
 （前年度比 +50円）
 25/6期計画も **175円維持**



目次

1. ID&Eグループについて
2. 成長戦略
3. 2024年6月期業績と株主還元
4. まとめ

社会基盤の整備を事業として、総合力で事業拡大と収益性の向上を実現する。

— 世界中の人々の安全・安心を支える国内No.1の建設コンサルタント —

2024年6月期は売上収益、コア営業利益は過去最高を更新、2025年も更新を目指す

事業内容

- 国内外でコンサルタント事業・都市空間事業・エネルギー事業を展開
- 総合力で、社会課題に対しソリューションを提供

強み

- 事業拡大と収益性の向上
- 公共案件で重視される、国内最大手としての豊富な実績
- 長年にわたる海外での業務経験
- 業界最大級の技術力・技術士数

安定性

- 自己資本比率44.1%（2024年6月時点）
- 格付け投資情報センター（R&I）格付 BBB+（2020年11月より維持）
- 特定の事業・地域に依存せず、バランスよく収益を獲得する

株主還元

- 安定的な配当と利益水準に応じた株主還元の充実を継続
- 自己株買い/消却は状況に応じて実施

ご登録いただくと、当社ウェブサイトに掲載されるニュースを公表と同時に自動でメール受信できます。
携帯・PCアドレスの登録が可能です。
お手持ちの携帯やタブレットなどで下記のQRコードを読み取っていただくか、当社ウェブサイトの「IR
メール配信サービス」ページからご登録ください。

▼IRメール配信サービス

<https://www.id-and-e-hd.co.jp/ir/mail/>



▼当社ウェブサイト 投資家情報ページ

<https://www.id-and-e-hd.co.jp/ir/>





Appendix

①社会とともに発展する
サステナブルなビジネスモデル
(社会と日本工営がWin-Winな関係)

市場ニーズに合わせた変革の実施



社会課題解決を事業化

②日本の建設コンサルティングの
リーディングカンパニー
(事業領域・技術・人財)

総合力 高度化・複雑化に対応可能

人財 業界トップの技術士数

技術 独自研究施設と多数の特許

連結売上収益
1,415億円

展開国
160か国以上

年間受注案件
9,000件以上

取得特許数
85個

技術士数
1,743名

※2023年6月期時点

時代変化に対応し、継続的な事業拡大と収益性向上を実現

ID&Eグループの日本工営は、国内の建設コンサルタントとしてNo.1のリーディングカンパニー

順位	会社名	売上高（百万円／単体）	
		建設コンサルタント部門	全体
1	日本工営	63,895	85,728
2	建設技術研究所	54,003	57,439
3	パシフィックコンサルタンツ	51,292	54,787
4	オリエンタルコンサルタンツ	30,856	30,956
5	大日本ダイヤコンサルタント	28,149	32,304
6	オリエンタルコンサルタンツグローバル	27,358	27,358
7	八千代エンジニアリング	26,186	26,774
8	エイト日本技術開発	23,837	26,322
9	パスコ	22,069	56,342
10	いであ	20,995	21,701
20	日本工営都市空間（2022年7月に玉野総合コンサルタントと統合）	13,853	15,735

※出典：日経コンストラクション2024年4月20日号 建設コンサルタント部門売上高ランキング（決算内容一覧）

<p>名称</p>	<p>中期経営計画 (2024/7-2027/6)</p> <h1>Building Growth 2027</h1>			
<p>基本方針</p>	<p>主力3事業の持続的成長と共創による事業領域の拡大</p>			
<p>定量目標</p>	<p>2027年6月期 目標</p>	<p>連結売上収益 1,980億円</p>	<p>営業利益 180億円</p>	<p>営業利益率 9%</p> <p>ROE 12%</p>
<p>展開策</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 成長に向けた改革 収益性向上に向けた3事業におけるポートフォリオマネジメントの推進 ② マトリクス経営の展開 ID&E体制によるマトリクス経営の推進 ③ 人財・技術の進化 人財育成、先端技術開発、品質管理強化によるID&Eブランド・クオリティの体現 			<ul style="list-style-type: none"> ■ サステナビリティ経営戦略 ■ ガバナンス ■ 財務戦略

受注高・売上収益・各利益ともに計画を達成、過去最高を更新。

連結業績

- 受注高は3セグメント（コンサルティング、都市空間、エネルギー） **いずれも好調に推移し、前期比で増加。**
- 売上収益は3セグメントいずれも着実に成長し、**増収。**
- 営業利益は、コンサルティング事業とエネルギー事業の本業の稼ぐ力が貢献。特殊要因を除いた**コア営業利益※においても計画を達成。**

※コア営業利益は、IFRS基準以降の営業利益（又は損失）から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出。

(単位：百万円)	23/6期 実績	24/6期 実績	前期比		業績予想	予想対比	
			増減	比率		増減	比率
受注高	139,265	161,357	22,092	115.9%	155,000	6,357	104.1%
売上収益	141,527	158,983	17,455	112.3%	156,000	2,983	101.9%
売上総利益	42,346	50,415	8,069	119.1%	45,000	5,415	112.0%
営業利益	6,080	14,124	8,043	232.3%	11,100	3,024	127.2%
コア営業利益	7,831	12,031	4,199	153.6%	11,100	931	108.4%
税引前利益	6,373	15,264	8,890	239.5%	11,100	4,164	137.5%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,093	9,677	6,584	312.8%	7,100	2,577	136.3%

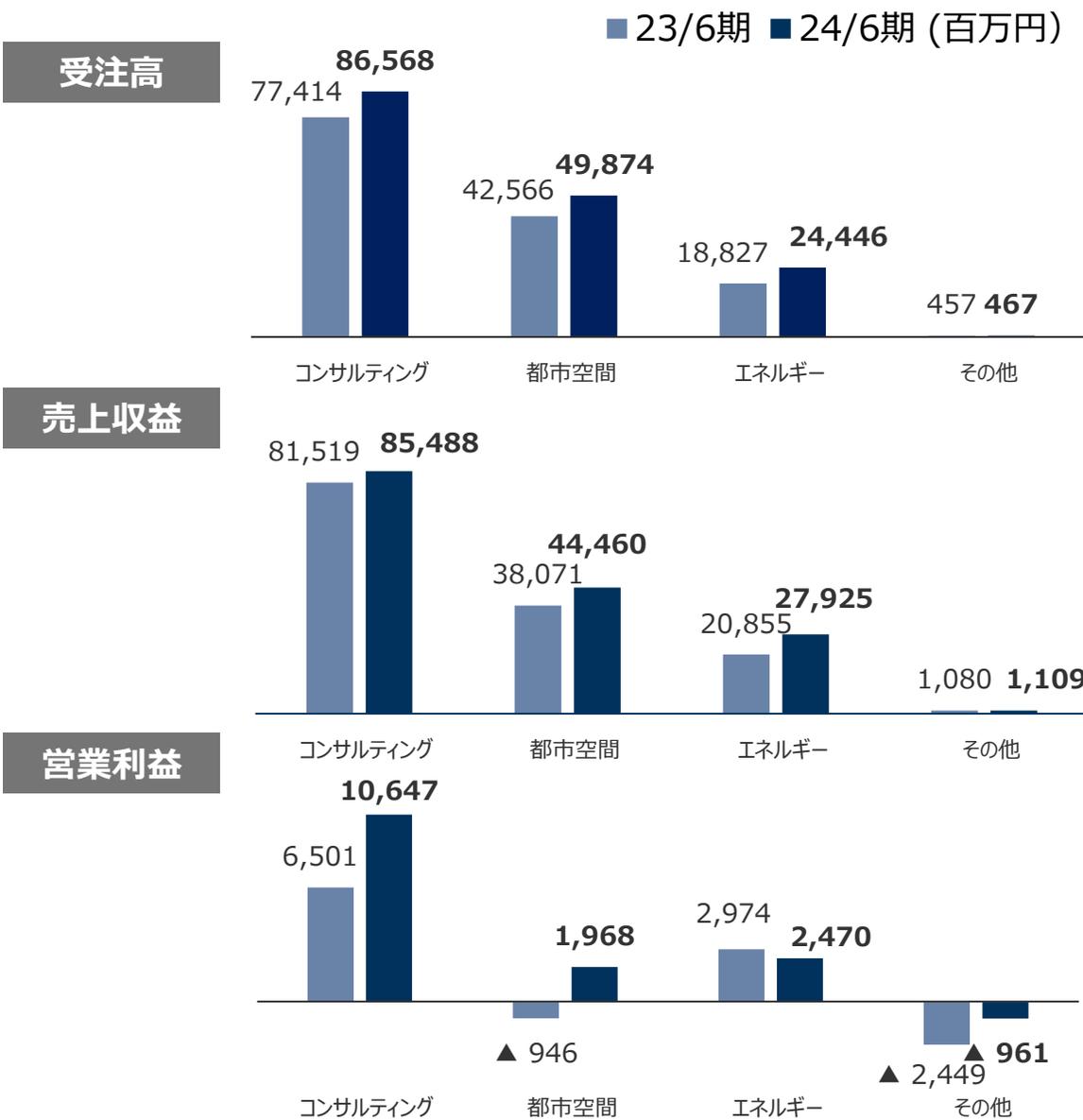
当社は2023年7月3日付で単独株式移転により設立され、当第1四半期連結累計期間より第1期としてはじめて要約四半期連結財務諸表を作成していますが、従前の日本工営株式会社の連結グループの範囲に実質的な変更がないことから、日本工営の2023年6月期連結累計期間および同連結会計年度末（2023年6月30日）を比較情報として用いています。なお、比較に際して当社子会社である株式会社エル・コー・エイをコンサルティングセグメントからその他に変更しています。

セグメント別実績

(単位：百万円)	23/6期 実績	24/6期 実績	前期比		予想対比
			増減	比率	
受注高	139,265	161,357	22,092	115.9%	104.1%
コンサルティング	77,414	86,568	9,154	111.8%	100.7%
都市空間	42,566	49,874	7,308	117.2%	116.0%
エネルギー	18,827	24,446	5,619	129.8%	94.0%
その他	457	467	10	102.3%	-
売上収益	141,527	158,983	17,455	112.3%	101.9%
コンサルティング	81,519	85,488	3,968	104.9%	97.1%
都市空間	38,071	44,460	6,388	116.8%	105.9%
エネルギー	20,855	27,925	7,070	133.9%	111.7%
その他	1,080	1,109	28	102.6%	110.9%
営業利益	6,080	14,124	8,043	232.3%	127.2%
コンサルティング	6,501	10,647	4,145	163.8%	143.9%
都市空間	▲946	1,968	2,914	-	72.9%
エネルギー	2,974	2,470	▲504	83.0%	112.3%
その他	▲2,449	▲961	1,488	-	-

※組織再編・分社化に伴い、従来「その他」で負担していた本社分の各社経営管理費用を2024年6月期よりセグメント毎で負担する計上方法に変更しています。

※2024年6月期に株式会社エル・コーエイをコンサルティングセグメントからその他にセグメント変更しました。2023年6月期も変更後の報告セグメントに基づき作成したものを記載しています。



受注高・売上収益・コア営業利益は過去最高更新を目指す。デジタル・人財への先行投資を計画。

(単位：百万円)	24/6期 実績	25/6期 計画	前期比	
			増減	比率
受注高	161,357	168,000	6,642	104.1%
コンサルティング事業	86,568	94,000	7,431	108.6%
都市空間事業	49,874	47,000	▲2,874	94.2%
エネルギー事業	24,446	27,000	2,553	110.4%
売上収益	158,983	165,000	6,016	103.8%
コンサルティング事業	85,488	90,000	4,511	105.3%
都市空間事業	44,460	47,000	2,539	105.7%
エネルギー事業	27,925	27,000	▲925	96.7%
その他	1,109	1,000	▲109	90.1%
営業利益	14,124	12,200	▲1,924	86.4%
コンサルティング事業	10,647	8,100	▲2,547	76.1%
都市空間事業	1,968	3,000	1,031	152.4%
エネルギー事業	2,470	2,400	▲70	97.2%
その他	▲961	▲1,300	▲338	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	9,677	7,300	▲2,377	75.4%
ROE	11.3%	8.0%	▲3.3pt	-

コア営業利益での比較

24/6期は資本参加先の上場による評価益等を計上。一方で25/6期は特殊要因は織り込んでいない。

▼コア営業利益での24/6期実績と25/6期計画の対比

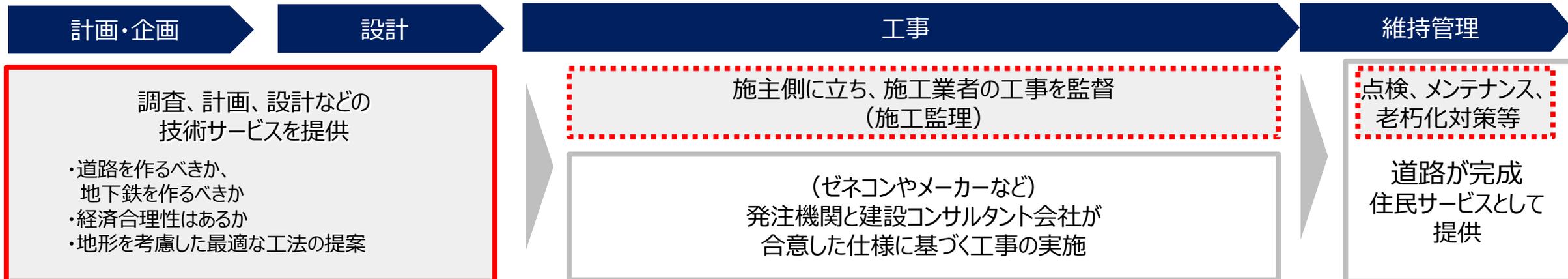
(単位：百万円)	24/6期 実績	25/6期 計画	前期比 増減
コア営業利益	12,031	12,200	168
コンサルティング事業	7,814	8,100	285
都市空間事業	2,341	3,000	658
エネルギー事業	2,897	2,400	▲497
その他	▲1,022	▲1,300	▲277

国内：主に設計段階まで携わる。主要顧客は、国土交通省などの一次官庁、都道府県、市町村などの二次官庁。

海外：案件により企画から工事の際の施工監理まで携わる。主要顧客は、国際協力機構（JICA）、相手国政府、国連・世界銀行など。



例) A地域での慢性的な渋滞問題





IRに関するお問い合わせ

ID&Eホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション室

TEL:03-5276-2454 MAIL:c-com@n-koei.co.jp

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものでありますが、実際の業績等はさまざまな要因により、大きく異なることが起こりえます。